

佐藤委員（広志会）

平成 31 年 2 月 26 日
教育長 答弁実録
（教育委員会）

（問）教員不足について

平成 29 年度における公立小中学校等の法定数に対する教員配置の割合は、正規教員の割合で見ると、広島県は 90.8%と東京都、鳥取県に比べて少ない。

また、臨時的任用職員を含めたフルタイム勤務職員の割合は全国最下位となっている。

来年度における本県の教員配置割合はどのようになる見通しか、教育長に伺う。

（答）

現時点で正確な数は分かりませんが、安定した学校運営を行うためには、できる限り本務者を配置することが望ましいことから、年度内には、正規教員の確保に向けた中長期的な計画を立て、今後の採用予定者数に、定数内の臨時的任用教員を解消する要素を加味することとしております。

さらに、定年退職者等に対し、再任用による勤務を繰り返し働きかけ、正規教員の確保に努めて参ります。